

平成28年度施策評価調書

整理番号	26
評価担当課	経済部営業戦略課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	雇用能力開発(4-5-4)		
総合計画の位置づけ	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
	主要施策	5	雇用の安定

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	近年の技術技能資格者の高齢化や資格保持者の減少等により、業種によっては慢性的な人手不足となっており労働者の確保・育成は大きな課題となっている。このような課題を解決するため、人材の育成を目指した事業を展開していく。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	技術者の育成を行う上川北部地域人材開発センターへの支援
施策の課題	近年の技術技能資格者の高齢化や資格保持者の減少による労働力不足は極めて大きな課題であり、労働力確保・育成を図る必要がある。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(年度)
補助金交付件数	雇用能力開発を行う上川北部人材開発センターへの運営補助金	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1	1	
		進捗率	100%	100%	100%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	人口減少に伴う事業所数の減少、労働者数の減少が課題となっているが、人材開発センターの利用者数が概ね維持されていることから判断した。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後においても、労働者の確保・育成及び中小企業の経営基盤教科を目指した人材の育成を目指した事業を展開していく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	人材開発センター活用促進事業【人材開発センター補助金】	人材開発センターへの運営を支援する。	9,100	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	26	枝番	1
評価担当者・係・職名・氏名	営業戦略課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	人材開発センター活用促進事業【人材開発センター補助金】			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	5	雇用の安定
		基本事業	4	雇用能力開発
		実施計画事業	1	職業訓練の促進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	上川北部地域における中小企業労働者、求職者及び地域住民に対する各種の職業教育訓練の実施等並びにこれを行う事業主、事業団体及び地域住民に対する施設の提供を目的として、その運営費の補助を行う。			
対象(何を又は誰を)	公益社団法人 上川北部地域人材開発センター運営協会			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	補助金			
意図(どのような成果を期待しているか)	中小企業労働者、求職者及び地域住民に対する各種の職業教育訓練等による労働者の雇用能力開発			
事業実施主体	公益社団法人 上川北部地域人材開発センター運営協会			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有 (終期 年度) ・無
根拠法令・条例等	名寄市中小企業振興条例			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

活動指標	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	
活動指標	1 補助金交付件数	件	目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	1	1	
	2	目標						
		実績						
成果指標	1 事業実施件数	件	目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	1	1	
	2	目標						
		実績						

(2)事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳	
事業費	9,100	9,100	9,100	9,100	補助金 1件 9,100千円	
国道支出金						
地方債						
その他						
一般財源	9,100	9,100	9,100	9,100		
人件費	535	530	519	500		
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244		
担当職員数	0.08	0.08	0.08	0.08		
総事業費	9,635	9,630	9,619	9,600		
対前年比(%)	—	100	100	100	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	9,635	9,630	9,619	9,600	
	活動指標2					
	活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

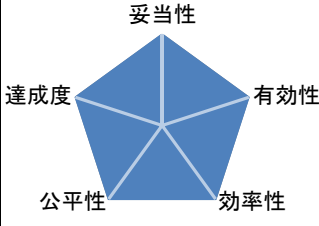
情勢の変化	職種による人手不足が強く労働力確保の動きが強まっているが、人口減少や事業所数の減少により利用者数は減少傾向にある。
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	上川北部地域(9市町村)及び道の補助金により運営を行っている。地域において技術を有した人材の育成・確保は重要な課題となっており、人材育成を担う人材開発センターの役割は大きい。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	人材開発センターは、これまで培ったノウハウや技能講習施設等の活用により、道北地域において唯一の組織であり、人材育成・確保において有効である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	名寄市を含む9市町村及び道の補助金により運営されており、組織も名寄市に位置することから市内企業・市民の利用も多く、補助額は妥当である。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りはないか？	a	名寄市を含む9市町村及び道の補助金及び、自主財源としては会員収入・施設利用料であり、受益者に偏りはない。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	道北地域において唯一の組織への補助金の支出

5 1次評価

評価結果	理由	
A	人材開発センターは、これまで培ったノウハウや技能講習施設等の活用により、道北地域において唯一の組織であり、地域の課題である人材育成・確保において非常に重要な組織であり、現状のまま継続が望ましい。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	人材不足を補う重要なものであり、周知を図っていくことで実績が上がることを期待したい。

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり